

令和元年冬山情報

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
14	岩手県 秋田県	八幡平	1,613	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の八幡平は、北西の季節風が強く、荒天時には視界ゼロとなり、特に源太森からは気象条件が一段と厳しく、加えて目標物が少ないことからリングワンデルングに陥る危険があります。必ず、地図、磁石、GPS等で位置確認を行いながら行動してください。また、単独行動や少人数での入山は避けてください。 ○ 茶臼岳へのツアーについては、前山、縦山(もみやま)付近及び恵比寿沢での雪庇崩落や雪崩に注意してください。 ○ 八幡平アスピーテラインは、冬期間は閉鎖となりますが、御在所の公衆トイレまでは通行可能です。 ○ 旧八幡平スキー場をトラバースする際には、上部の雪庇崩落等による雪崩に注意して下さい。また、大黒森から八幡平山頂を目指すルート上には、1番から300番までの目標番号板がついていますので、ツアーの参考としてください。 ○ 八幡平アスピーテラインの、ふけの湯温泉から八幡平頂上までは、令和元年11月5日から令和2年4月下旬まで閉鎖となっています。(秋田県情報)
16	秋田県	森吉山	1,454	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の森吉山では、阿仁スキー場のゴンドラ山頂駅(標高1167^祝)から山頂をめざす登山者(山スキーを含む)が多くなっていますが、ゴンドラ山頂駅を利用することで山頂までは比較的距離も短く、気軽に行けるというイメージがありますが、ガスの発生や吹雪による視界不良等による遭難事案が頻発し死者も出ています。森吉山は悪天候が長く続く山で、捜索救助活動すらできないことも多々ありますので、天候を見極め、決して無理をしないことが重要です。登山届は阿仁ゴンドラ山麓駅でも提出できますので、忘れずに提出してください。また、気軽さから安易に装備等を簡略化することなく、万全の装備で入山をお願いします。 ○ 途中の阿仁避難小屋は利用できますが、積雪により小屋が埋まった際は、使用不能となりますので注意が必要です。 ○ 阿仁スキー場ゴンドラ山麓駅までは、通年通行が可能となっています。
17	秋田県 山形県	鳥海山	2,236	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の鳥海山は天候が急変しやすく、一旦吹雪になると視界ゼロの状態が何日も続くことから、冬山への登山者はほとんどありません。登山を試みる場合には本格的な冬山登山の知識と十分な経験、装備が必要です。 ○ 7合目(御浜付近)より上は、硬い氷に覆われ、アイゼンも刺さりにくい状態になり特に注意が必要です。 ○ 御浜小屋(7合目)と頂上小屋は、無人となりますが、避難場所として利用できます。しかし、積雪により小屋が埋もれた際は使用不可能となるので注意が必要です。 ○ ブルーラインは毎年4月まで通行止めとなり、鉾立、大平各ルートへの車両の通行はできません。 ○ 滝ノ小屋、湯ノ台の各ルートも鳥海高原家族旅行村までは除雪されますが、その先は閉鎖となります。積雪時は、鳥海高原家族旅行村から鳳来山を經由して湯ノ台コースで滝ノ小屋に宿泊後、山頂を目指すことも可能ですが、傾斜がきつかなりの技術・体力を要します。 ○ 遊佐町白井新田から入る長坂道には避難小屋がなく、また、万助道には万助小屋が避難小屋として使用されていますが、どちらのコースも積雪が多く大変危険なので一般登山者はほとんどいません。 ○ 鉾立、大平山荘は毎年10月下旬までで営業を終了しており、鉾立、大平山荘に向かう道路も令和元年11月5日から令和2年4月下旬まで通行止めとなり、営業開始は開通後の4月下旬頃となります。鳥海高原家族旅行村、鳥海山荘は通年営業です。 ○ 駒の王子から祓川ヒュッテに通ずる道路は、令和元年11月5日から令和2年4月下旬頃まで通行止めとなっています。(秋田県情報) ○ 山小屋開設情報～山頂御室小屋・御浜小屋:7月上旬～9月中旬、滝ノ小屋:6月下旬～10月下旬、万助小屋・鶴間池小屋・大清水避難小屋:無人小屋(通年利用可能) ● 平成29年10月中旬、山頂に登頂したが雪のため下山ルートが分からなくなり救助要請し救助される事案が発生しています。10月でも山頂は降雪のため環境が一変しています。無理のない登山計画と万全の装備が必要です。(山形県情報)